夕刊 常磐毎日
発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210
編集兼印刷発行人 池田一夫

押し寄せる新就職 狭き門の新卒二千名

今年初の学卒者採用試験は二十日午前九時から平職安会議室で、愛知県一の宮市林産業（採用予定十名）が皮切りで行われるが、十名の採用予定者に対して早くも五十余名の希望者が現れ、例年の通り「狭き門」の様相を呈し三月の学卒期を前に就職戦線えの暗い話題を投げている

平職安管内の今年度新制中卒者は七千名を数え、このうち就職希望者が一千二百名となつているが、現在平職安で見通しのついているものは、約四百名前後であると言われ、例年通り「狭き門」のとびらは容易に開かないものと見られている、昨年度は石炭、機械関係衣服、紡績、食糧などの採用須で約九十余パーセントの就職卒を見ているが、依然繰業短縮状態を続けている紡績関係などの状態から見て今年度は相当の難色があるものと見られる

六月までに 全部完全就職

平職安ではこれら学卒者の就職について「狭き門」であることは間違いない、四、五百名の就職予想はついているが、零細求人の開拓など所員を動員して六月一ぱいまでは、何とか百パーセント就職までこぎつけたいと語つている

補導所の試験 二十一日平職安で行う

平公共職業補導所の第二回生採用試験（一般の部）は二十一日午前九時から平職安所会議室で行われるが、希望者の申込受付は、同日午前九時まで実施することになつている、同所は昨年十月第一回生三十名を就職難時代をよそに全員就職させた、時代の寵児でもあり特に自動車整備の専門的習得所のなかつた当地方から大きく期待されているところでもあるので、希望者も多く、現在既に一般の部だけで採用十五名に対し六十余名の申込者になつている、なお新制中卒者（十五名採用）の入所試験は三月上旬の予定

教員異動で 教委協議会

石城地方教委連絡協議会総会は、二十三日午前十時から平市第一小学校で開き
▽県連絡協議会設置について
▽来る三月教員異動に関する人事その他の申合せ事項等について協議する

俵装の講習会

産米改善協議会石城支部主催の俵装改善講習会の植田部は、二十日
農協組合み、廿一日岩間倉庫で毎日午前九時より約五時間開く講師には三富俵装研究所職員が当る

磐農近く落成

県立磐城高農校第二部校PTA（会長藤田三郎氏）では十九日後一時役員会を同校に開き、独立校として県教委員会では採託したので今後の方針及び落成間近い、校舎新築の祝賀の計画等を協議した

小名濱町議補戦 相当候補者多い予想

小名浜町では、小松、林の町議が死去したので、これが補欠選挙を二月二十二日執行と決定し、早くもこれが下馬評が行われているが小松氏の地盤は、前町議村上重一氏のものであり、小松氏出馬に当つて美徳を発揮し、村上氏は選挙事務長を買つて出た関係から、当然今度は村上氏が出馬することと確実だろう、さらに前回次点で惜しくも敗れた社会党の石井幸平氏、さらに鈴木一男、竹原大津満氏も色気たつぷりとある任期も二年三カ月残つていることと次の選挙の用意にもと、この際名乗りを上げるものが多いだろうと、噂されている

湯本教委会

湯本町教育委員会は十九日午前九

平囲碁会 山崎氏優勝

平将棋碁楽会第七回囲碁大会の成績は次の通り

A組 1山崎英一郎②大竹一郎③石山兼吉④鷲沢⑤吉田好文
B組 ①飯塚喜造②谷川進②速藤留太郎④佐藤清吉

市民税申告 一月末限り

平市役所では、廿八年度の市民税申告について町内各事務嘱託員を通じて各戸に通達した
◆申告期間は一月三十一日限り◆給与所得者必ず源泉徴収票をこ付して添付のこと◆期限後は扶養控除の恩典が失われる◆農業所得者は必ず付表を添付のこと

林君の霊前へ

小野生

小名浜町議会議員の定数は二十六名であるが、十人十色の原則に洩れず多種多様なことは当然であるが、就中林林平君の町議としての貫録は同僚何れもその熱心さに敬服しないものはない昔から「才者薄命」とゆうている様に、君は才者の部類であつたのであろう、五十一才を最後として、遂にこの世を辞し去つたのである、人生五十という年は昔からゆうているが、それは東洋流の徳操感念にハクタイする「朝に道を聞き夕に死するも可」と叫んだ孔孟聖賢の金言として寧し来た処に源を発しているに困るものであろう

◇

何は兎もあれ平市に生れ、三十台で小名浜町に居を移し鉄工場を開いて漁業に特有手腕を発揮し漁業の進展に寄与した功績も決してすくなくはない、終戦後町議となつてからの林君は天リンの職責を生かして学校建築を初めとして、町の営造物の建造に対する堅ろうなる監督は何時も同僚の舌をまかしめざるはない、水道委員副委員長として残る上水道に関する研究は超人的の技りようを発揮して、町百年の基礎を確め、其の行く処として可ならざるはない、人に接して明暗なく能肝胆を照し合つて町政の上に採長補短の実を挙げた、二階堂老人が林後援会を作つて自ら会長となり、林氏の町政に於ける地歩ゆるぎなきまでに向上せしめた一事、林君の全ぼうを語つて余りない

◇

今や小名浜町は町政から市政に切り換いねばならない重大時機に遭遇している、林君の如き有為の氏を失う事は町将来のために如何に損失が大なるかはゆうまでもない、然し今は悲嘆しても如何ともしようがない、唯林君の心を以つて心となし、君の計画された町政上の遺気を残された吾々に依つて達成せしめ、君のめい福を祈るより外に道はない、あいて霊前に額いて、全町議を代表してその霊を慰く弔ふとせん

（常磐毎日支社長小野生）

石橋放談

相變らずの大ふろ敷 記者会見で一くさり

自由党民同派の頭目として時の注目を浴びている石橋湛山氏は十九日午后一時平市公会堂日本間で開かれる平経済研究会主催の講演会出席のため来平、講演前の一時南町松本楼で関内正一氏ら家の子郎党に囲れながら地元記者団と会見、◆自由党幹事長問題「僕は党幹部の一人や二人どうなろうと問題じやないよ林君が居座るなら居座つて見たら良い」◆予算問題「日本の政治、経済全体が世界の経済に対する考い方がくるつているよ」◆再び党幹事長問題「党の現執行部は速かに更迭すべきである、林君が再指名されるような話も出ているが、僕らは幹事長一人位はどうでも良い、根本の吉田が辞めればそれで良いのだ、林はもとく吾々も歓迎した人物である、吉田のワンマンで悪くなつたのだが、吉田さい辞めれば、幹事長位いどうなつても問題ではない」「僕は自由党の民主化を希望している、人は誰でも良い、民主化によつてのみ党は安定する、今までの例から見て吉田には出来ないから已むを得ず退りぞいてもらわねばならないのだ」と相変らずの吉田攻撃を一席ぶちまけた、吉田ワンマンを頭からこき下すあたり、石橋氏もまた良きワンマン振りである

父平三郎儀永らく病気療養中の処、去る一月十七日午后十時急逝致しました
茲に生前の御厚誼を深謝し謹んで御通知申上げます
追而葬送の儀は来る一月二十日午後一時自宅出棺菩提院に埋葬いたします
昭和廿八年一月十八日
平市新川町十七番地
喪主 馬目勝彌
親戚総代 馬目重蔵
同 馬目武之助

無料診察 平保健所で

平保健所では、廿五日午前九時から無料巡廻診察を実施する
福大教授の診察、診断、薬品の無料サービス、健康診断は受附けない

久ノ浜青年学級

久ノ浜町青年学級は十七日午後七時から町役場会議室に開講毎週水土曜日となつており青年多数の入講を希望している

童子町の小火

十九日午前十時二十分ごろ平市童子町材木商鈴木康男さん方庭先の材木置場から出火、附近に置えた松材など一千円相当を焼いた、原因はタキ火の不始末らしい

天気予報

（今晩）北西の風良い天気（明日）北西の風、日中一時南寄りの風となり良い天気でしよう（海上）こゝ一両日とも多少波立ちますが、穏やかな方でしよう

内科、小児科
後藤医院
平市古鍛冶町（県社下）
電話 一〇三六

胃病薬なら アルファ胃散 小野薬局

むぎとろ 割烹さつき 電八二

丈夫で スマートな 藤倉の運動靴
FFF
平三 代理店 横山商店 電話94

肉は 神戸牛専門の 緑屋
本店 一丁目 電話五三九番
支店 中央通 電話七九四番
メーカー 公類御贈答用に御利用下さい

電話新設
一二八八番
御利用願います
千代田経済株式会社
平営業所
平市新川町

ごこよりもうまい
ごこよりも安い
平凡の御菓子
平凡では無料サービス茶室を設けました平駅へ御乗降の際は是非御立寄下いませ
御菓司 平凡
御注文ハ電話五〇九番へ 平駅前

備へあれば憂なし
停電!! 生産休止!!
ヤンマーディゼルに 依つて解消する
貴工場は（五馬力）
一日只の百円の燃料でフールに活動する
株式会社
常磐ヤンマー製作所
本店 平市一丁目 電二五
支店 浪江町新町 電一六四

営業開始
総ゆる方に気軽に御利用願いる
融資を始めました
磐洋勧業株式会社
取締役社長 坂本義信
平市四丁目一〇（郵便局横通り）
電話 二一七番
東北財務局
受理第一六八号

季節の ふぐと天ぷら
御賞味 天金
平市五丁目小路 九五〇

急告
安斎稔こと当店に於て不都合の儀有之一月六日限り解雇仕り候
尚右の者当市内に在住致し居候へ共当店にては関係無之候へば御ひいき様には御注意下さる様右伏して御願ひ申上候
昭和二十八年一月
御ひいき様
仲田町 茂登女 電二〇四番

新しい技術でつくる
東京堂のパン
香りと味の良い
東京堂のパン
土産品の誇り
銘菓 たいら柚餅子
名物 さくら羊羹
製造本舗 合資会社ベーカリー 東京堂 電二一〇八
チエン店 平駅前売店 電二一八
大丸百貨店 電八九八
湯本 福島屋 電七〇

平市の緑化計畫
物見カ岡から三十米道路

平市の復興祭は、来る四月の桜花時を期して盛大に挙行される予定で、目下市役所を中心に商工会議所、観光関係団体等が具体案を計画中であるが、市商工課並びに農務課としては、目下県が計画中の都市緑化美化運動に呼応して、復興記念行事の一つとして、平市の緑化美化運動を計画中である

松カ岡公園の整備は勿論、新設される跨線橋完成とマツチして城山の物見カ岡稲荷神社を中心として鉄道沿線の緑化と、すでに完成近い新川通りの緑化から三十米ロータリーの緑化美化等近代都市としての都市美化計画をやることとなり農務課が中心で具体案を計画中である

湯本圖書部會
責任部長らも決る

湯本町公民館図書部会は二十一日午後六時三十分から同館図書室で開らき▼規約の審議▼図書部正副部長の改選▼蔵書構成の大系について▼図書部行事（研修旅行、映画鑑賞会、ポスター標語の募集与論調査など）についての四項目を審議する

なお去る十五日敎養、図書部の合同委員会を開らき、次の各専門部の責任者を決定した

▼第一部（総記）深沢啓一▼第二部（社会科学）高田稔▼第三部（自然科学）ササ川昭寿▼第四部（文学）津村ひろしの四氏を選任した

文学サークル
湯本町に結成

湯本町の文学愛好者によって結成された文学クラブでは文学を通じて町の文化向上を図るため、十八日午後二時から同町公民館に町内の青年諸氏を集め、文学サークルを結成する

白土農事振興
サークル組織

市内北白土農事研究会は、同字の中堅青年ら廿余名が農事研究サークルを組織して、農事の研究改良に努力を続けているが、この程会長に伊藤惣吾君を推挙して堅実な歩みを続け、収穫競技会、農事研究会、月例研究会、生活改善の実行から、生活必需物資の共同購入等まで実行して部落民に喜ろこばれている

内郷精神修養講演会

内郷町公民館では敎育、社会両面に廃退した老若男女の精神を修養し、明るい秩序ある社会を更生すべく、三十日午後一時から同町浅野記念館に福島保護観察所保護司玉木氏を招き、婦人会、青年会、愛護連盟、ボーイスカウト、民生委員などの民主団体、内高生一、二中の上級生ら約三百名が集つて「精神修養大講演会」を開く

踏切廢止に反對
久ノ浜で國鉄へ陳情

國鉄では、旧ろうから通行人数の少ない踏切りを開放、踏み切り番を廃止したが、その結果第一回犠牲者を出した久ノ浜駅構内のれき死事故発生に鑑みて、久ノ浜町当局では踏み切り番の常置方を国鉄当局に陳情することになつた

事故を出した踏み切りは駅構内であり、市街の西側に線路をはさんで小中学校があり、通学児童の交通に今後も相当危険で勘案されており、これが未然に防止するためにも踏切り番守を存続する必要を痛感されているところである

出席悪い
湯本学級

湯本町青年学級委員会は十七日午後六時から公民館で青年学級の出席授講生は昨年五月ごろは百八十名であつたが、現在では平均五人程度に低下したので、如何にして出席率を向上させるかにつき協議した結果、定例学級開設とカリキウラムの程度が高いので、この低下を図つて授講生を吸収するほか連絡員を設け督励する事になつた

平・中村驛傳の反省
七区の十六キロは明年の課題

十六キロ論

平、中村間駅伝競走の反省によつていろいろな論が起つている。明年度の課題として大いに研究すべき問題ではあるまいか

第一は第七区十六キロではあまりに長すぎる約四里を走ることは一般は耐久力も奪われているが、高校としてはどうか、この区間に中継所を新設して欲しいという要望である

右については今年も開催前研究されたことであるが、駅伝の興味は長いコースや短いコースがあつて保たれているので、十六キロ程度のものも中にはあつてもよいではないかとの論も出た

それで今年は各選手に、出発前の健康状態と、走つてからの状態を検査し、果して十六キロは無理であるかどうかの結論を出すことになつた

不足な参加

この計画は浜通りの親善のために作られたものであつて、結論は勝敗を決するのであるけれども、平から中村間の青年、一般職場、学生らが挙つて参加・・きものであるということである

島田審判長も講評に述べているように、単に常磐が強い、毎年出場しても常磐に破れるようでは出場しなくともよいという空気が出るようになつてはこの催しは意味をなさぬ。勝つても負けても、成人の日を祝してわれら健全な青年の意気を示そうという精神の下にこのレースに参加せねばなるまい。一部青年の不参加に対してはいろいろな批判が加えられている

古河好間チームも、今年は不参加の意向であつたという。しかし古河が出なければ対外的にも面白くないし、年中行事としてこの催しがプログラムに上つている以上断然参加すべきだという会社側の誠意によつて出場を決定したというエピソードも加えられている。これらの意気の下に明年は各方面から挙つて参加すべきであると思う

中村の熱意

三田中村町長は七十一才の高齢にも拘らず、この意義あるレースに参加し、わざわざ平まで足を延ばして閉会式に臨んでいる。しかし一部の町村長のみが熱があつて、親善の実が挙らないのは誠に残念なことである。各町村殊に沿道町村当局の熱意のない向はどういうわけだろうか

終りにこのレースの生の親である陸上競技界の第一人者金子源三氏が病気のためこのレースに勇姿を現わさなかつたことは残念であり淋しい極みであつた。タンノウエンという病気のため暮から自宅で静養している、病床にあつて金子氏は感無量のものがあつたであろうと思うことを附記して終りとする （終）

工場誘致の特別委設定
奨励金の制度を作る

平市では、只見川電源開発に伴い常磐地区が当然その恩恵に浴して工場誘致その他、開発の大きな対照となり、平市が当地区の中心となる見透しが当然考えられるので、これに対処して「工場誘致条例」を設定することとなり目下市当局で起草中であるが、骨子は工場誘致に際して、土地の斡旋、一工場資本金五百万円以上従事員五十名以上のものに対しては、三ケ年間固定資産税と同額のものを奨励金の名目で貸付け、工場の発展を積極的に援助するもので、来る卅日開らかれる予定の市会まで原案を間に合せて提案審議する予定である

なおこれに関しては、専門家、市会代表ら十名前後のエキスパートを網らして「工場誘致特別委員会」を設置してその運営の円滑を図ることとなる模様である

湯本カメラ講座

湯本町公民館教養部主催で成人学級として二十五日午後六時から同館会議室にカメラ講座を開き、カメラの話と技術研究を行うため町湯影会が指導にあたることになつている

常炭連選挙対策

常炭連では、十七日午前十時から炭労会館で、参議員選挙対策について第一回打合会を開催した

不良化防止
内郷小で開く

石城第八ボーイスカウト隊では二十五日午後六時から内町小校に内郷地区署少年係二瓶部長を招き、父兄を交えて少年犯罪についての反省を行い、今後の補導研究について協議し不良化防止に万全策を構ずることになつた

出所して又盗む
磐崎の青年

磐崎村上湯長谷湯台道生れ住居不定無職鈴木清美(三)は、一日午後三時ごろ同居していた湯本町笠井二四から沢盛さん方のタンスの中から、現金千四百円入のサイフを盗んだほか、同月十日平市田町丸平パチンコ前から平市堂ノ前川炭業鈴木計司さん所有の新品自転車一台一万五千円相当を窃取し、十七日湯本地区署に逮捕された、なお同人は未決で刑務所に入所し、昨年十二月十七日出所したばかりの身である

蔭の声 （投稿歡迎）
平連青へ

▼平連青がこのほど協議会を開いたが、鉄北青年団のいろいろな質問に対し幹部連は妙な態度でいたことは純真な青年団の会議として反省すべきだろう

▼青年には敵もなければ味方もない、白色一色であるわけ、いかに議論をやつてもよいだろう、それがみんな団の振興に資する熱意であるわけだ、それを子供扱いにして大切な時間を割いて会へ出席してさて帰宅して見たら、何んのために出席したのか全然判らないという淋しさであつた

▼連青の幹部に対してはいろいろな批判がある、この際末端の青年らと共に一緒になつて親切に指導しそして平市青年団がもつと向上するように努力しようではないか敢えて一言したい （一青年）

湯本防犯協会

湯本地区防犯協会では十七日午後一時から同町公民館に役員会を開き、町内小中学校児童生徒の防犯弁論大会開催について協議した結果、二月中旬ごろの校長会で決定して開催することになつた

なお同町の少年犯罪の年間件数は百五十件で、初犯者よりも再犯者が多く横ばい状態なので、不良化防止に万全を期することになつた

御商談に 御会合に ぜひ御利用のほどを
近代的純食堂 レストラン パール
RESTAURANT PEARL 眞珠 TEL 1388
平市田町（大丸隣）

これはこれはと可愛がつて頂ける
皆様の小型タクシーは
株式会社 平和タクシー
「旧名菊地タクシー」
又新車が入りました
電話平一九一番

和菓子と洋菓子
平名物 松の月
松月堂へ
★御贈答に御利用下さい★・平市銀座通り（電二〇六番）

割烹 小料理・和洋食・そば 名代しること特製支那そば
お江戸寿 奈加や
出前迅速
平市支那小路 電三九五

内科 外科
金成醫院
平市鎌田町 電話八二六番

厚生大臣推奨
【火鉢コタツ最適用】
絶対徳用 共燃の文化木炭
同名異品あり ㊟印に御注意乞う
各種燃料販売 有限会社 共榮燃料
平市正月町（第三小学校前） 電一二八四

各種製綿卸商
大量注文に応じます
つたや製綿店
平市正月町

常磐炭礦の石炭
石炭は信用のある有名品が御徳です
火力の強い ガラの少ない 石炭
御注文は一俵より配達します
電37 237番へ
平市田町 常磐炭礦販売会社

冬の味覚
たべてはりきる
味郷の蒲焼
割烹 味郷

新入荷
秋田杉板、同平割、尾州檜平割、ベニヤ板、床廻り材床柱、化粧材の御用は特に勉強の
織田銘木店へ
平市紺屋町 電話（平）四六〇 製材工場 二三五